

日本の展望委員会「地球環境問題分科会」（第1回）議事要旨

1. 日 時：平成20年9月26日（金）14：00－16：00
2. 場 所：日本学術会議5-C(2)会議室
3. 出席者：河野 長（委員長）、中島映至（幹事）、安成哲三、前田正史、岡田清孝、山本眞鳥、淡路剛久
4. 議 題：
 - (1) 委員長、副委員長及び幹事の選出
 - (2) 分科会の検討事項について
 - (3) 今後の進め方について
 - (4) その他
5. 資 料：
 - 資料1 「日本の展望—学術からの提言（仮題）」についての考え方
 - 資料2 日本の展望委員会テーマ別検討分科会でとりあげるテーマの説明
 - 資料3 日本の展望委員会 今後の進め方等について
 - 資料4 地球環境問題分科会委員名簿
 - 参考1 日本の展望委員会運営要綱
 - 参考2 日本の展望委員会委員名簿
 - 参考3 会議の開催について

6. 議事概要

(1) 委員長、副委員長、幹事の選出

- ・河野委員が委員長として推薦され、了承された。
- ・委員長から幹事として中島委員が指名され、了承された。

(2) 分科会の検討事項について

- ・委員長から資料1－3に基づいて以下の説明があった。
今後、10-20年を対象とした学術の長期展望を取りまとめる。
重要な検討結果を、我が国の科学・学術政策に適切に反映させる。
第4期科学技術基本計画に向けた作業工程にあわせた検討・発信が重要である。
2010年4月までに文書を取りまとめるが、その前からメッセージの発信を行う予定。
- ・本テーマ（テーマ4）はテーマ3（持続可能な世界をいかに構築するか—人類の未来問題）との関係が多いので、テーマ3の山内世話人と議事録の共有を行う申し合わせをした（この件承認）。必要に応じて合同会合も行う可能性がある。
- ・今後の予定について確認した。
2009年3月末：起草委員会への報告書案の骨子（ポイント）のとりまとめ
2009年4月総会：検討の中間報告
2009年8月までに分科会の報告書案を起草分科会に提出
- ・今後数名の委員を追加することが決まった（委員会の最大規模は約15名）。
- ・国際環境法に関する委員の追加が重要であるとの指摘があった（淡路）。
- ・人間活動に起因する地球環境問題に関する検討委員会の活動について、委員長と中島委員から報告があり、本委員会でも密接にこれらの活動と連携して行うことが了承された。温暖化に関わる課題別委員会が立ち上がらない場合は、本委員会に小委員会等を立ち上げることも了承された。

・今後の議論のために、当該課題について学術会議においてこれまでまとめられた資料を整理し、基礎とする。

(3) 今後の進め方についての検討

- ・本委員会で各学会から意見を聴取する。
- ・テーマ3、4、さらに5、7とも関係する、これらの議論も知っておく必要がある。
- ・すべてのテーマで議事録の共有化は必要。上部委員会にウェブシステムで委員が他の分科会の議事録を読めるような仕組みを導入することを要望することになった。
- ・温暖化については、それ自体が膨大なので課題別での検討結果を利用する。
- ・重要な検討事項として次のものがあげられる
 - 人口問題（ただし、テーマ3、5とも重なる）
 - 自然環境と人間活動の相互作用、全球規模の議論
 - アジアでの環境問題、アジアの研究者の貢献
 - 水問題、鉱物資源と環境被害
 - 消費、エネルギーの問題
 - 食料問題、耕地、放牧、乾燥、砂漠化
 - 森林減少
 - 日本の林業、メンテナンス、地域振興、里山、棚田の保存
 - 地球観測の持続的観測と長期展望
- ・法律（国際環境法、淡路委員担当）、経済（環境経済、鈴木副会長に推薦を依頼）、農学（食料、林業、耕地等、岡田委員担当）関係の委員の追加を検討する。

(4) その他

次回の開催予定日としては10月20日、27日、11月7日（いずれも午後）を主な候補とし、本日欠席の委員の都合も調べて決定する。

以上